

加須元気農業を実現するために

儲かる農業の実現に向けて ～園芸設備機械の導入支援～

《次世代施設園芸技術導入支援事業》

■ 事業内容

県の次世代施設園芸技術導入支援事業費補助金を活用し、次世代施設園芸に必要な新技術の導入を支援します。

この事業では、複数の環境制御機器を統合環境制御装置により動作させ、ハウス内環境を自動的に制御する最先端の施設園芸技術を導入し、地域の普及モデル事業となるような取り組みに対し、事業費の1/2を補助します。

■ 主な採択要件

- 対象品目(トマト・きゅうり・いちご・花き)の単位面積当たりの収量が概ね10%以上増加することが見込まれること。
- 統合環境制御装置が制御する環境制御機器は2種類以上であること。
- 埼玉県農業技術研究センター次世代技術・実証普及センター等との連携が可能であること(栽培等に関するデータの提供等)。

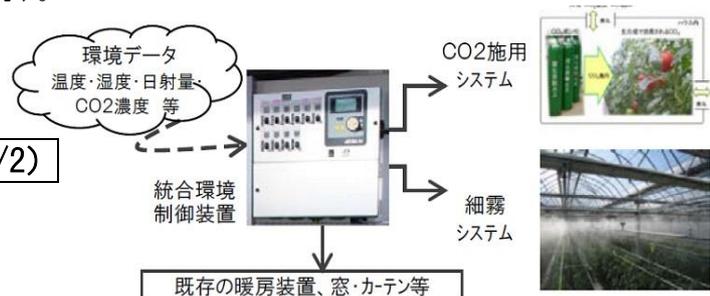
■ 補正予算額 1,701千円

統合環境制御装置の導入

事業費 3,402,864円

県補助金 1,701,000円 (事業費の1/2)

自己負担額 1,701,864円



《オーダーメイド型産地づくり事業》

■ 事業内容

県のオーダーメイド型産地づくり事業費補助金を活用し、オーダーメイド型産地づくりに必要な機械の整備を支援します。

この事業では、需要に応える加工業務用野菜等の産地育成のため、野菜の収穫機購入に対し、事業費の1/2(補助上限概ね370万円)を補助します。

■ 主な採択要件

- 食品製造メーカー等との取引期間、数量などの内容がわかる契約書等が作成されていること。
- 対象品目の延べ作付面積が産地化に寄与すること。
 - ・オーダーメイド型産地づくり支援事業：概ね10ha以上

■ 補正予算額 3,000千円

にんじん収穫機(2台)の導入

事業費 6,000,000円

県補助金 3,000,000円 (事業費の1/2)

自己負担額 3,000,000円



にんじん収穫機

《産地強化整備支援事業》

■ 事業内容

県の野菜産地強化整備支援事業費補助金を活用し、産地間競争に勝ち続けられる足腰の強い野菜産地の育成を図るため、埼玉野菜の生産拡大や高品質化に必要な生産施設・機械の整備を支援します。

この事業では、統合環境制御装置とCO2発生装置を導入し、新たな仕立て方の取り組みに対し、事業費の1/2を補助します。

■ 採択要件

○機械整備

・作付面積を概ね3ha以上拡大もしくは、販売額を概ね20%以上増加

■ 補正予算額 1,660千円

統合環境制御装置・CO2発生装置の導入
事業費 3,320,480円

県補助金 1,660,000円（事業費の1/2）

自己負担額 1,660,480円



統合環境制御装置

CO2発生装置

新たな担い手の確保に向けて ～次世代を担う新規就農者を育成～

《農業次世代人材投資資金》

■ 経緯

当初予算では交付継続の対象者1人分（上限の150万円）を計上していましたが、本年4月以降、新たに青年等就農計画の認定を受け、資金の採択要件を満たしている新規就農者2人分の追加交付が見込まれたことから、補正予算を計上するものです。

■ 事業内容

青年の就農意欲の喚起及び就農後の定着を図るため、次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農直後の経営確立に資する資金（農業次世代人材投資資金）として、経営開始直後から最長5年間、資金（上限150万円/年）を交付します。

■ 主な採択要件

- 独立・自営就農時の年齢が45歳未満の認定新規就農者であり、次世代を担う農業者となることについて強い意欲を有していること。
- 農地の所有権又は利用権、主要な農業機械及び施設や、農業経営に関する主宰権などを有していること。
- 青年等就農計画が、独立・自営就農5年後には農業で生計が成り立つ実現可能な計画であること。

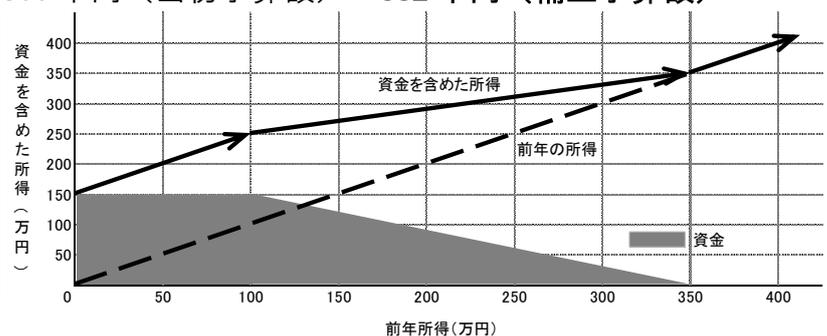
■ 補正予算額 832千円【国補助金】

2,332千円（交付見込額）－1,500千円（当初予算額）＝832千円（補正予算額）

交付見込額

継続 1人×832千円
（前年所得に応じて算出）

新規 2人×750千円＝
1,500千円
（資金は半年分を単位として交付）



前年の所得が100万円未満の場合150万円を交付

前年の所得が100万円～350万円の場合
(350万円－前年の所得)×3/5を交付